

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第11回研修を開催しました！」

第11回の研修は、令和4年7月30日(土)に、盛岡市猪去の株式会社いわて若江農園様で、現地研修を行いました。

株式会社いわて若江農園は、9棟・70aのハウスで、大玉・中玉・ミニの各種トマトを、環境制御技術などを取り入れながら、周年で栽培しています。大玉トマトの単収は、県平均の5倍以上の10a当たり40トンに達します。

研修では、若江代表取締役から、脱サラし、Uターン就農した経緯、法人化や、環境制御型技術を導入したタイミングなどをじっくりと伺いました。

特に、就農時に苦労しながら農地を確保したこと、補助金を前向きに使うこと、5カ年計画を立てながら進めていること、の3点が、特に受講生の刺激になったようです。



若江代表取締役から会社概要等を伺う様子

受講生からは、「こんなに時間をかけて具体的なお話を伺えることがありがたい」との声が聞かれました。

その後、環境制御ハウスを案内いただき、受講生は、20aの鉄骨ハウスの広さや高さ、高所作業車等を活用した管理方法に圧倒されながらも、いつも南畑で学んでいる誘引等の作業の基本は変わらないことを確認していました。

今回の研修を通して受講生は、非農家だった若江代表取締役から独立・自営就農することの厳しさと面白さを直接聞くことができ、多くのことを学んだようです。

第12回の研修は、8月5日(金)、6日(土)に、雫石町南畑で、「暑熱・台風対策」、「太陽熱消毒」についての講義と、「キャベツの定植」、「だいこんのは種」の実習を行う予定です。



環境制御型ハウスで説明を伺う様子



6月に定植した環境制御型ハウスの大玉トマト



環境制御盤の説明を伺う様子